

令和4事業年度

決算報告書

自：令和 4年4月 1日

至：令和 5年3月31日

国立大学法人上越教育大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 上越教育大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 額 (決算－予算) | 備 考 |
|---------------------|----------|----------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 2, 9 7 3 | 2, 9 9 7 | 2 4 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 5 5 2 | 5 2 2 | △ 2 9 | (注2) |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 施設整備資金貸付金償還時補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | — | 3 0 | 3 0 | (注3) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 2 3 | — | △ 2 3 | (注4) |
| 自己収入 | 7 9 4 | 7 7 4 | △ 1 9 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 7 3 1 | 7 1 0 | △ 2 0 | (注5) |
| 附属病院収入 | — | — | — | |
| 財産処分収入 | — | — | — | |
| 雑収入 | 6 3 | 6 3 | 0 | |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1 3 7 | 1 5 0 | 1 3 | (注6) |
| 引当金取崩 | — | — | — | |
| 長期借入金収入 | — | — | — | |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 前中期目標期間繰越積立金取崩 | — | 2 1 4 | 2 1 4 | (注7) |
| 目的積立金取崩 | — | — | — | |
| 引当特定資産取崩 | — | — | — | |
| 計 | 4, 4 7 9 | 4, 6 8 9 | 2 1 0 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 3, 7 6 7 | 3, 7 5 0 | △ 1 6 | |
| 教育研究経費 | 3, 7 6 7 | 3, 7 5 0 | △ 1 6 | (注8) |
| 診療経費 | — | — | — | |
| 施設整備費 | 5 7 5 | 5 2 2 | △ 5 2 | (注9) |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | — | 1 | 1 | (注10) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 1 3 7 | 9 6 | △ 4 0 | (注11) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | — | — | — | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 | — | — | — | |
| 計 | 4, 4 7 9 | 4, 3 7 2 | △ 1 0 6 | |
| 収入－支出 | — | 3 1 7 | 3 1 7 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費等が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が24百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一般競争入札の結果等による減により、予算額に比して決算額が29百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金等が追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、令和4年度事業の支払いが翌年度になったこと等のため、予算額に比して決算額が23百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等減免費交付金による授業料免除の実施等により、予算額に比して決算額が20百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初予定よりも寄附金収入等が増加したことから、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額40百万円が含まれています。
- (注7) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、第3期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る申請が承認され、一部取り崩し使用したため、予算額に比して決算額が214百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、人件費等の節減により、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注9) (注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が52百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、教育支援体制整備事業費交付金等が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、決算額には次年度への繰越額を含めていないこと等により、予算額に比して決算額が40百万円少額となっています。